

飯田市立病院における自費料金の改定について

市立病院 医事課

1 産科をめぐる経緯

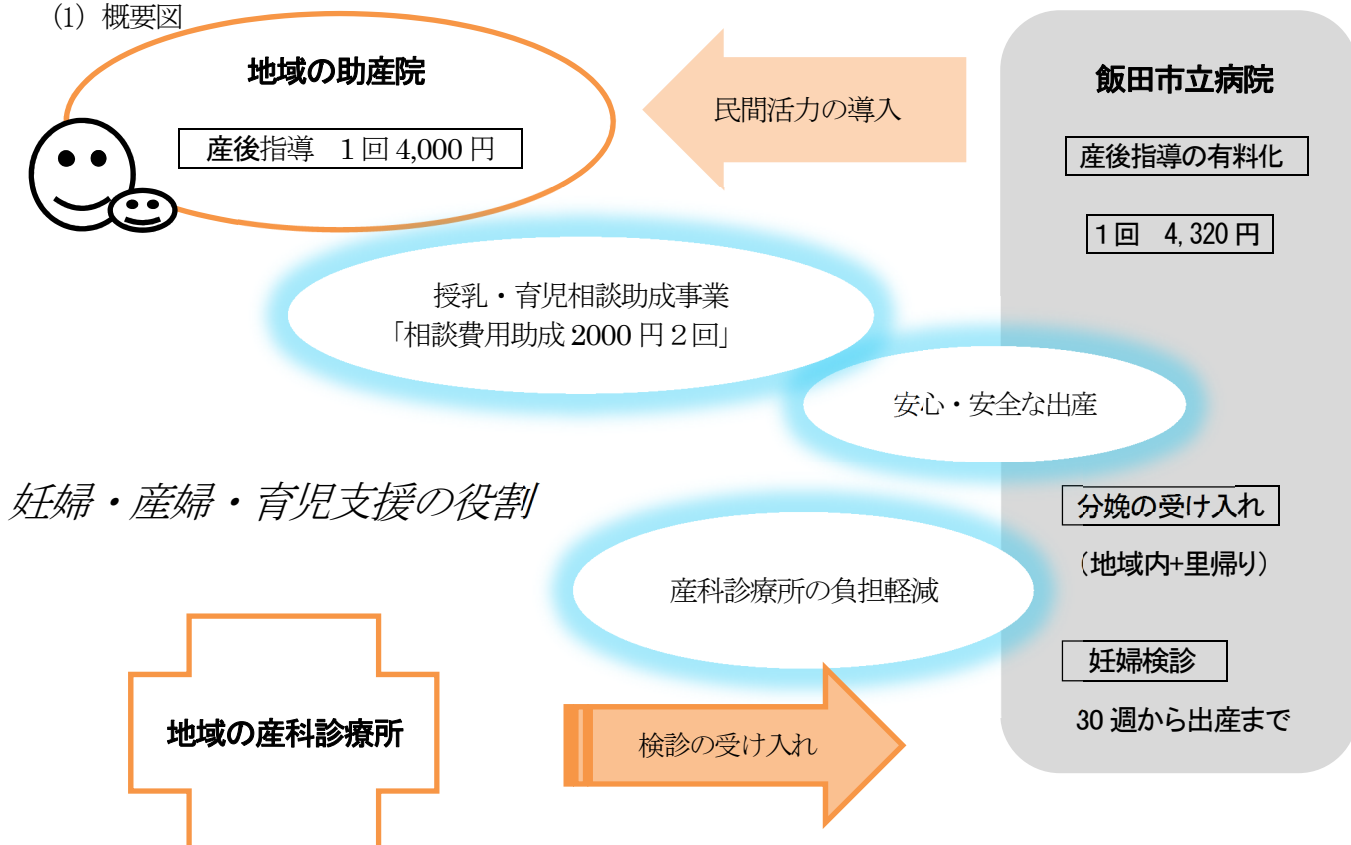
- ・平成28年7月、分娩を取り扱っていた診療所の休診により、分娩はすべて市立病院で受け入れ、30週までの妊婦検診は地域内の産婦人科で分担し対応してきたが、地域内の産婦人科医の負担が予想以上に多くなり、現状維持が厳しくなった。
- ・増大した地域内の産婦人科医の負担軽減のため、検診1回分を繰り上げて市立病院で受け入れる運用を11月から開始した。
- ・診療所の休診により受け入れる約300件を含めると、分娩件数は年間1,300件を超える想定のほか、上記運用が定着する12月中旬には5～8人/日の検診増が見込まれ、産婦人科スタッフの業務に負荷がかかると思われる。

2 改定の趣旨

- (1) 現在、当院で出産した産婦のフォローとして行っている産後産婦ケアを、民間助産師の協力により分担していく中で、飯田市授乳・育児相談助成事業の拡大を促し上質な子育て環境を目指していく
- (2) 民間活力の導入をスムーズに進めるため、地域内助産院による産後助産師指導の価格との均衡を図り、当院（現在は無料）の料金設定を行う
- (3) 乳房マッサージについても同様に、定額化する
- (4) その他自費料金（文書料）についても近隣病院との均衡を図るため、改定する

3 改定の内容

(1) 概要図



(2) 改定内容

医療圏内他の病院等の料金設定の状況

(円)

項目	下伊那 赤十字病院	民間助産師 ※ (平均)	飯田市立病院	
			(改定前)	(改定後)
産後相談	-	4,000	0	4,320
乳房マッサージ	2,160	4,000	2000	2,160
訪問指導	-	4,000	-	-
その他	-	施設ごとの設定	-	-

※民間助産院 5施設

(たひら母乳育児相談室、バースコンダクター・楽育、よしみ助産院、はぎもと助産院、サンフラワー助産院)

(3) その他自費料金の改定

他院文書料

(円)

項目	飯田病院	健和会病院	下伊那厚生病院	飯田市立病院	
				(改定前)	(改定後)
死亡診断書	5,400	5,400	7,560	5,140	5,400
死体検案書	10,800	10,800	7,560	10,280	10,800
普通診断書	3,240	2,160	2,160	2,060	2,160
通院証明書	5,400	2,160	4,860~6,480	1,030	2,160
納入証明書	540	540	540	310	540

4 改定日

平成29年1月1日(施行予定)

経過措置：産科系料金は施行日以降に実施するもの、文書料は施行日以後に申し込みを行ったもの

5 日程

12月13日 社会文教委員会協議会での説明

1月～ 病院ニュース等による広報